

浜松歯科衛生士 専門学校

☆☆☆
学校だより



令和3年度も4ヶ月が過ぎ、浜松の暑い夏がやってきました。学生達はそれぞれの夏休みを過ごしています。

1年生は、講義に加え模型を使った実習が徐々に増えてきました。夏休み明けには、実技チェックもあり、休み中に学校に練習に来る学生もいます。

2年生は6月に小学校と幼稚園へ健康教育実習に行ってきました。昨年と同様に、ブラッシング指導は感染予防のためできませんでしたが、子どもたちの前に立ち応答を感じながら実習することができたのは、良い体験となりました。夏休み期間中は「介護職員初任者研修」を選択した学生は登校してきて、資格取得に向け実習や演習を行っています。

3年生は3学年で一番短い夏休みです。7月末に業者の国家試験対策セミナーを受講しました。受験生にとって、この夏休みをどう過ごすかが重要で、それぞれ計画的に過ごしています。

しばらくは静かな学校になります。暑さと、コロナウイルスに負けず過ごし、休み明けにはまた元気な声が聞けると思います。

夏期基礎対策を受けて

7月29日にDHS歯学スクール夏季基礎対策講座が行われ、3年生44名が受講しました。その中から2名に感想と今後の意気込みを書いてもらいました。

3年 磯田 葵

DHSの夏期基礎対策講座を受けました。進むのが速く、ついていくのが大変でしたが重要なところや、その覚え方などたくさん教えていただきました。この講座を受け受験生という自覚を持ちました。これからたくさん模擬試験を受けていきますが、年内のうちに6割を超えられるようになります。そのために夏休みを有意義に使い、今まで受けた模擬試験や、国家試験問題集の解き直しをしたいと思っています。これからの国家試験対策の時間も班で分からないことは聞きあい、37期生全員で合格し笑顔で卒業式を迎えたいです。



3年 鈴木 深結

夏期基礎対策講座を受けてみて、今までまだ復習に取り掛かれていない基礎科目は覚えなおすことが膨大で、1日かけてたくさんの知識を頭に詰め込みました。講座は、わかりやすい語呂や、工夫した覚え方も盛り込まれていて大変わかりやすかったです。これから国家試験に向けて、たくさんの模擬試験を受け問題に慣れていきたいです。今日受けた対策講座の内容をもう一度復習し、自分のものにしていきたいと思っています。3月の国家試験まで一生懸命頑張ります！



健康教育実習 (小学校)

2年 杉山 亜優

私たちは、歯の大切さについて伝えるために、小学校を訪問しました。

私たちは5~6人の班に分かれ、この実習に向けて約2か月前から発表内容を考え、発表媒体を製作し、練習を重ねました。製作時には歯ブラシのブラッシング法やう蝕の成り立ち、歯肉炎と歯周炎との違いなど、その折々で覚えていないものや記憶があいまいな事柄とたくさん遭遇しました。そのたびに教科書やノートを読み返し、伝え方や媒体に活かしました。改めて正確さが大事と言うことも学びました。

練習を重ね、班内のメンバーや専任の先生からアイデアをいただき、正確でまとまりのあるものを作り上げることができました。児童たちの意欲的な反応や「わかった!」のリアクションは、本当にうれしく、励みになりました。

新型コロナウイルスへの感染対策を行った上での実習でしたが、直接児童と関わることのできる機会はとても貴重な実習でした。



健康教育実習(幼稚園)

2年 一瀬 瑠衣奈

6月28日29日30日の3日間、私は幼稚園に行き、健康教育実習を行ってきました。3か月前から準備を始め、どうしたら園児に伝わるか、どんな媒体を作ったら分かりやすいのか、班内で何度も練習し、試行錯誤しました。

実際に幼稚園に行ってみると、思ってもいなかった質問や、元気すぎるリアクションに圧倒されてしまうこともありましたが、園児だけでなく先生方も一緒に楽しそうに聞いてくださり、楽しく話をすることができました。終わった後は達成感と共にこの実習が終わってしまう寂しさもありました。

口腔内の染め出しや歯みがきはできなかったのですが、園児たちの口腔内を見ることができず残念でしたが、感染拡大のリスクを負いながらも健康教育を引き受けてくださったことに感謝しています。

貴重な体験をこれから活かしていけるように頑張りたいと思います。

